

令和3年度 一人一人の確かな学力のために 2年

	学年の目標	1学期末の児童の様子	3学期末の児童の様子
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の確実な定着を図ります。字形に気を付けて、確実な習得を目指します。学期末の25問テストでは、90点以上で9割の児童の達成を目指します。また定期的に、小テストを実施し、間違えた漢字を自分で直し、繰り返し練習する習慣をつけます。 ・順序に気を付けたり、主語や述語を明らかにしたり、自分の意見や考えを書いたりすることができる児童を育成します。さらに既習漢字を使って、文章を書く指導をします。 ・説明文や詩の学習で、身近な生活について考えることを通して、SDGsについて知るきっかけとなるよう指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字の定着を図るため、定期的に小テストや25問テストを実施しました。学期末の25問テストでは、90点以上で合格した児童が5割に留まっています。引き続き、再テストに挑戦する機会を設け、9割の児童が達成することを目指します。 ・国語の説明文では、順序に気を付けたり、主語や述語を明らかにして読むことを学習しました。2学期は、主語・述語を明らかにして順序よく自分の意見や考えを書くことを重点的に指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2学期末の25問テストでは、再テストを実施し、9割の児童が目標を達成しています。3学期も同様に達成することを目指しています。 ・主語と述語とは何か、どんな言葉が入るかなど文づくりを行ったり、自分の成長について順序を考えながら書いたりする活動を行いました。 ・他教科とも関連を図って「水の自然を守る」というテーマで学習を行いました。
基礎・基本 算数	<ul style="list-style-type: none"> ・二位数のたし算やひき算の計算(筆算)の定着を目指します。そのために必要に応じて、計算ドリルに繰り返し取り組ませ、繰り上がり、繰り下がりの学習の定着を図るとともに、計算のスピードが速くなるようにします。 ・量や測定、図形については、算数的活動を取り入れて視覚的にわかりやすくするとともに、日常生活でも活用することで定着を図ります。 ・かけ算の学習では、全員が1の段から9の段までの九九を確実に覚えられるようにします。そのために、各段を10秒で言うテストを実施したり、授業前にフラッシュカードを用いて九九を確認したりする活動を行います。 ・年度末までに、ドリルの答えを見たり、友達の発表を聞いたりして、自分で答え合わせができるように指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二位数のたし算・ひき算の計算(筆算)は、未だ計算ミスが少なくありません。見直しの仕方を復習すると共に、計算の仕方を忘れないよう、定期的に繰り上がりの足し算・繰り下がりの引き算に取り組ませます。 ・量や測定、図形については、引き続き日常生活でも活用することで定着を図ります。 ・かけ算の学習では、各段を10秒で言うテストを実施したり、授業前にフラッシュカードを用いて九九を確認したりする活動を行い、全員がかけ算九九を暗唱できるようにします。 ・友達の発表を聞いて答え合わせができる児童は9割程度です。一方、ドリルの答えを見て、正確に答え合わせができる児童は6割程度です。引き続き、自分で答え合わせができるように練習する機会を設けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時、復習プリントなどを行って反復練習に取り組みました。暗算で計算できる児童が増えてきました。 ・実際に測定するなどの体験的な学習活動を行うことで、量感や目盛りの読み方などを養うことができました。 ・2学期末に1～9段を順番に暗唱する検定に全員合格することができました。油断せず、どんな順番でもスムーズに暗唱できるように引き続き練習しています。 ・答え合わせを自分で行う習慣を身に付け、自分の間違いに気づき訂正できるようになった児童が増えました。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・マイブックを常備し、空いている時間には読書に親しみ、読書目標の100冊の達成を目指します。 ・読書科では国語や生活科と関連させながら、読書科ノートを活用し、調べる学習を年間12時間行います。粘り強く本を読み、本から必要な情報を見付け、まとめる児童を育成します。 ・パソコンに慣れ親しむ児童を育成します。パソコンの開始、終了を自ら行い、マウスの基本的な操作を習得し、絵や文字を入れた簡単な作品を作成します。 ・ふるさと学習では、特産物の花を使って寄せ植えを行います。生活科では、町探検をしたり、野菜や生き物を育てたりして地域の自然に触れ、その素晴らしさに気付くことができるようにします。様々な体験を通して、江戸川の文化や自然についての興味・関心を高め、SDGsの考え方に繋がるよう指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すでに読書目標の100冊を1割の児童が達成しました。1学期は特に生き物や野菜に関する本に多く振れることができました。引き続き、マイブックを常備し、空いている時間には読書の機会を設けます。 ・読書科では、ベンタコンチャートをを用いた問題の作り方を指導し、生き物発表会で調べたことを発表しました。2学期は、本で必要な情報を見付け、正確に抜き出し、まとめる学習を行います。 ・タブレットで、動植物の写真を撮ったり、ドリル学習をしたりすることを身に付けました。今後は、友達と学び合う際に、簡単な感想を入力することを指導します。 ・生活科では、野菜や生き物を育てたりして地域の自然に触れ、その素晴らしさに気付く、生き物への愛情が高まりました。今後は町探検やふるさと学習などを通して、江戸川の文化や自然についての興味・関心を高め、SDGsの考え方に繋がるよう指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在では、7割の児童が100冊を達成しています。引き続き目標達成に向けて取り組んでいきます。 ・読書科では、水辺の生き物について本で必要な情報を見付け、書き抜き、1枚の紙にポスターのようにしてまとめる学習を行いました。 ・タブレットを記録に活用するだけでなく、自分の考えをメモしたり整理したりすることにも活用することができました。学校を休んだ時には、授業の配信を視聴したり、学習状況を把握したりすることにも活用できました。 ・生活科の学習を中心に、地域の様子や自然の様子について詳しく学ぶことができました。そして、学習のまとめとして学習発表会で紹介し、陸や水の自然を守ることへの興味関心を高めることができました。 ・友達と意見を交流したりしながら、自分の考えをもって自力で課題解決することができるようになってきています。 ・グループで意見を一つにまとめる話し合いの仕方を学びました。自分の意見を根拠をもって伝え、目的を達成するにはどうしたらいいか、異なる意見の人のことも大切にしながら話し合うことができました。 ・黒板の内容をノートに書き出すスピードがついてきています。図で表す方法やウェビングマップなどで考えを整理する方法を学んだので、そのスキルを使って自分の考えをノートに表現できるよう指導しています。
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、自分の考えをもって解決できる児童を目指します。そのために、前時の復習を取り入れたり、既習事項を想起させたり、見直しをもって課題解決に取り組みさせます。 ・自分の思いや考えをもち、ペア学習やグループ学習の際に、伝えることができる児童を目指します。また同じ意見、違う意見など、様々な意見を知り、相手の意見を尊重する態度を育成します。 ・ノートで思考の整理ができる児童を目指します。どの単元においても、問題、めあて、自分の考え、まとめ、学習感想など、1時間の学習の中で問題解決の過程が分かるノートの作成ができる児童を目指します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿題や導入時の発問で、既習事項を想起させることで、自力で課題解決ができる児童は6割程度です。今後は、友達の意見を聞いて学びを深める機会を設け、課題解決ができることを目指します。 ・ペアで順番を決めるなどして学習することができました。今後は、グループ学習の際に、伝えることができる児童を目指します。また同じ意見、違う意見など、様々な意見を知り、相手の意見を尊重する態度を育成します。 ・問題、めあて、自分の考え、まとめ、学習感想などの項目を立てて、ノートをまとめる習慣が付ききました。2学期は、1時間の学習過程が分かるノートの作成を目指して、友達とノートを見合う機会を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と意見を交流したりしながら、自分の考えをもって自力で課題解決することができるようになってきています。 ・グループで意見を一つにまとめる話し合いの仕方を学びました。自分の意見を根拠をもって伝え、目的を達成するにはどうしたらいいか、異なる意見の人のことも大切にしながら話し合うことができました。 ・黒板の内容をノートに書き出すスピードがついてきています。図で表す方法やウェビングマップなどで考えを整理する方法を学んだので、そのスキルを使って自分の考えをノートに表現できるよう指導しています。
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶を自分から進んでできる児童を目指します。 ・話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見て、終わりまで聞くことを指導します。また「声のものさし」を掲示し、声の大きさを目的に合わせて変えられるよう、指導します。 ・家庭学習を毎日30分(学年×15分)取り組むことを目指します。また、家庭学習の提出率を9割以上を目指します。そのために毎日の音読、漢字、計算の宿題の他に自主学習もできるように、「家庭学習の手引き」を活用して、指導に当たります。 ・チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化を毎日全員が、100%できることを目指します。朝の会では、担任から1日の流れを伝え、予定を掲示しておくことで、見直しをもって行動できる児童を増やします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から挨拶をすることができる児童は8割を超えています。 ・話し方名人、聞き方名人を掲示し、相手の顔を見て、終わりまで聞くという意識は高まっています。また「声のものさし」を意識して、声の大きさを目的に合わせて変えることができるようになりました。今後は、発表の際、伝わる声の大きさが出せるよう指導します。 ・家庭学習の提出率は、9割を超えています。今後は、自主学習の仕方を指導し、家庭学習を充実させ、楽しく学ぶことができるようにします。 ・チャイム着席・次時の授業の準備の習慣化ができてきている児童は6割程度に留まっています。朝、一日の予定を伝え、引き続き見直しをもって行動できるよう指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶マスターになることができた児童は、8割を超えました。マスターの期間でなくても自分から挨拶ができる児童が増えてきました。 ・自分の考えや学んだことを発表する学習を繰り返し行ってきました。分かりやすく伝えるには、声の大きさや話す速さに気を付けること、内容を整理し、順序を表す言葉を使うことを学習してきました。 ・家庭学習の提出率は9割を超えています。自分で課題を見つけ、改めることや自分の力を伸ばすための学習の仕方などを指導してきました。 ・チャイム着席、次時の授業準備の習慣化ができてきている児童が8割くらいになってきました。Teamsで1週間の予定を伝える、朝に一日の予定を伝えるなどして見直しをもって過ごせるように指導してきました。